

平成 19 年 10 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社プロジェ・ホールディングス
(旧会社名：同興紡績株式会社)

代表者名 代表取締役社長 田 中 大 輔
(コード番号：3114 名証・大証第二部)

問合せ先 管理本部長 坂 本 鐵 雄
電話番号 (03) 5777-5152

当社の親会社 ステラ・グループ株式会社
(旧会社名：株式会社アポロ・インベストメント)

代表者名 代表取締役社長 松 浦 清
(コード番号：8206 大証第二部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 4 月 12 日の決算発表時に公表した平成 20 年 2 月期（平成 19 年 3 月 1 日 ～ 平成 20 年 2 月 29 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 2 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 19 年 3 月 1 日 ～ 平成 20 年 2 月 29 日）
(単位：百万円，%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,100	320	135
今 回 修 正 予 想 (B)	2,346	72	△183
増 減 額 (B-A)	△1,754	△248	△318
増 減 率 (%)	△42.8%	△77.5%	△235.6%
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 2 月期中間)	750	△50	△43

2. 平成 20 年 2 月期中間個別業績予想数値の修正（平成 19 年 3 月 1 日 ～ 平成 20 年 2 月 29 日）
(単位：百万円，%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	260	30	15
今 回 修 正 予 想 (B)	261	△18	△239
増 減 額 (B-A)	1	△48	△254
増 減 率 (%)	0.4%	△160.0%	—
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 2 月期中間)	750	12	△51

3. 平成20年2月期通期連結業績予想数値の修正（平成19年3月1日～平成20年2月29日）
（単位：百万円，％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	10,600	700	310
今回修正予想(B)	10,600	700	70
増減額(B-A)	0	0	△240
増減率(%)	0%	0%	△77.4%
(ご参考) 前期実績(平成19年2月期)	5,772	503	289

4. 平成20年2月期通期個別業績予想数値の修正（平成19年3月1日～平成20年2月29日）
（単位：百万円，％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	520	90	50
今回修正予想(B)	427	△61	△333
増減額(B-A)	△93	△151	△383
増減率(%)	△17.9%	△167.8%	△766.0%
(ご参考) 前期実績(平成19年2月期)	973	66	28

5. 修正の理由

(1)平成20年2月期中間業績予想（連結・個別）について

中間期業績は、不動産事業の売上において一部物件の引渡し時期が下期にずれ込んだことや、不採算部門の見直しによるシステム事業縮小などの要因により、売上高（連結）、経常利益（連結・個別）は当初計画を下回る見込みであります。

また、第1四半期に発生した本社移転等の臨時的な費用の発生や人員削減による追加退職金等一時的な費用に加え、平成19年10月16日に公表しました特別損失（投資有価証券評価損約102百万円および関係会社株式評価損約63百万円）の計上により、中間純利益は連結・個別とも当初計画を下回る見込みであります。

(2)平成20年2月期通期業績予想（連結・個別）について

通期連結業績予想については、不動産事業における受注状況は順調に推移しており、システム事業の縮小による売上高の減少分や、第1四半期に発生した本社移転等の臨時的な費用や人員削減による追加退職金等のコストを好調な不動産事業によりカバーできる見込みです。従って、売上高、経常利益については当初計画を達成する見込みですが、当期純利益につきましては平成19年10月16日に公表しました特別損失（投資有価証券評価損約102百万円）の計上や不動産事業を行うグローバルコーポレーションの法人税等負担が増加することにより、当初計画を下回る見込みであります。

通期個別業績予想については上期に発生した臨時的な費用や投資有価証券評価損を下期では吸収できず、当初計画を下回る見込みであります。

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上